

南三陸 復興まちづくり通信

第16号(平成27年10月発行)



一般社団法人 復興みなさん会

復興みなさん会は平成23年10月から、南三陸町内で東日本大震災の復興支援を継続しています。法人化を機会に、町内外の皆さまに活動の内容をご理解いただき、共に地域の再建への道を歩んでいくために『南三陸復興まちづくり通信』を毎月発行しています。読者の皆様からの情報、ご意見、ご提案を頂戴できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

子育て支援2拠点 年度内に完成

～保育所との複合施設として整備～

南三陸町が歌津、戸倉の両地区で整備を進めている子育て支援拠点の工事が順調に進んでいます。このうち歌津中学校上団地の高台移転造成地に建設中の施設は、伊里前保育所と歌津子育て支援センターが一体となった建物で、木造平屋建てで延べ床面積は約830平方メートル。0歳児から5歳児までの各保育室や遊戯室、調理室、多目的ホール、保健相談室などを配置。供用開始は来年5月の連休明けを予定しています。

戸倉地区の施設は、戸倉高台移転団地の造成地に建設中で、戸倉保育所と放課後児童クラブなどが入る複合施設です。10月に新築開校した戸倉小学校や戸倉災害公営住宅に隣接しており、来年4月の開所を目指しています。

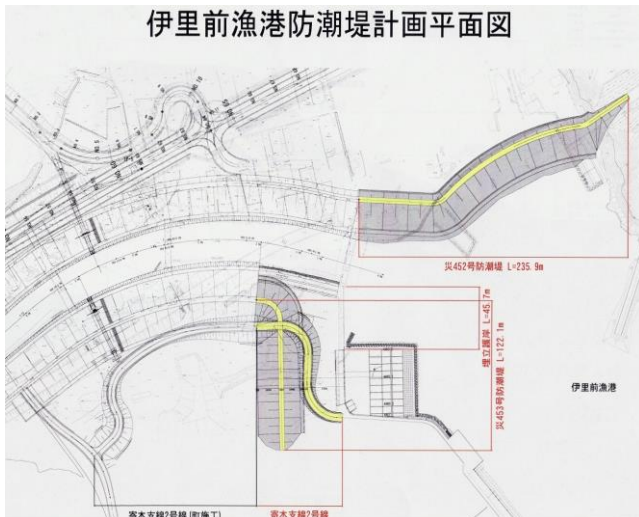


(歌津地区子育て支援拠点の完成イメージ図)



(戸倉地区子育て支援拠点の完成イメージ図)

伊里前漁港防潮堤計画平面図



伊里前漁港防潮堤計画の説明会開催

歌津伊里前漁港の海岸保全施設災害復旧工事の事業説明会が9月17日、歌津総合支所で開催され、地区住民およそ30人が出席しました。県気仙沼地方振興事務所水産漁港部の担当者が防潮堤計画について説明した後、質疑応答が行われました。防潮堤は、これまでの計画より海側に40メートル出ることになりました。今後のスケジュールとしては、12月上旬の用地説明会を経て、平成28年4月上旬に工事に着手。平成30年3月下旬の工事完成が見込まれています。

「入谷お役立ちマップ」を町に寄贈

復興みなさん会が入谷の復興公営住宅の入居者と交流しながら制作した「入谷お役立ちマップ」が好評で、入谷地区の全戸に配布されることになりました。増刷を機に、みなさん会のメンバー2人が9月9日、町役場を訪れて佐藤仁町長にA1サイズの拡大パネルを寄贈し、マップの完成を報告。後藤一磨代表が「入居者の皆さんに、マップを使って早く地域に溶け込んでいただきたい。入谷には震災後に開店した店なども多く、地域の住民にとっても便利だと思います」と話しました。復興みなさん会は公益財団法人トヨタ財団の助成を受けて、被災地での

コミュニティ支援の活動を行っており、今回のマップづくりの取り組みも、その活動の一環です。



(佐藤町長にマップを手渡す工藤真弓さんと後藤代表)

仮設住宅を町営住宅に活用

～定住促進のための町営住宅完成 入居始まる～

町が人口減少対策として、仮設住宅を利用して整備を進めていた定住促進住宅が完成しました。町産材を使って在来工法で建てられた歌津館浜仮設住宅のうち、空き室となった1棟5戸を有効活用し、歌津中学校近くの町有地に移設したものです。町への定住促進につなげようと、町外に住む40歳以下を対象に公募したところ、6人が応募。いずれも単身の男・女各2人、4人の入居が正式に決定しました。うち1人は9月末に入居しました。



(完成した定住促進のための町営住宅)

「椿の種ひろい&ふるさと巡りツアー」開催

復興みなさん会が主催する「椿の種ひろい&ふるさと巡りツアー」が9月24日、町内で行われ、登米市南方仮設住宅に暮らす住民など19人が参加しました。一行は、バスで町内に入り、戸倉神社や志津川八幡宮の境内などで椿の種ひろいをしたほか、復興みなさん会のメンバーの案内で、志津川と戸倉地区の復興状況を見学しました。昼食時には、入谷のひころの里に移動して「ばっかり茶家」で会食をしながら交流しました。ひろった種は、椿油にして、みんなで楽しむ予定です。



(椿の種ひろいの後、八幡宮の神橋前で記念撮影)

一般社団法人 復興みなさん会

〒986-0751 宮城県本吉郡南三陸町志津川字上の山26
上山八幡宮 社務所内 minasan.msrk@gmail.com

当法人は、トヨタ財団、大阪コミュニティ財団等の助成金を受けて、活動を行っています。